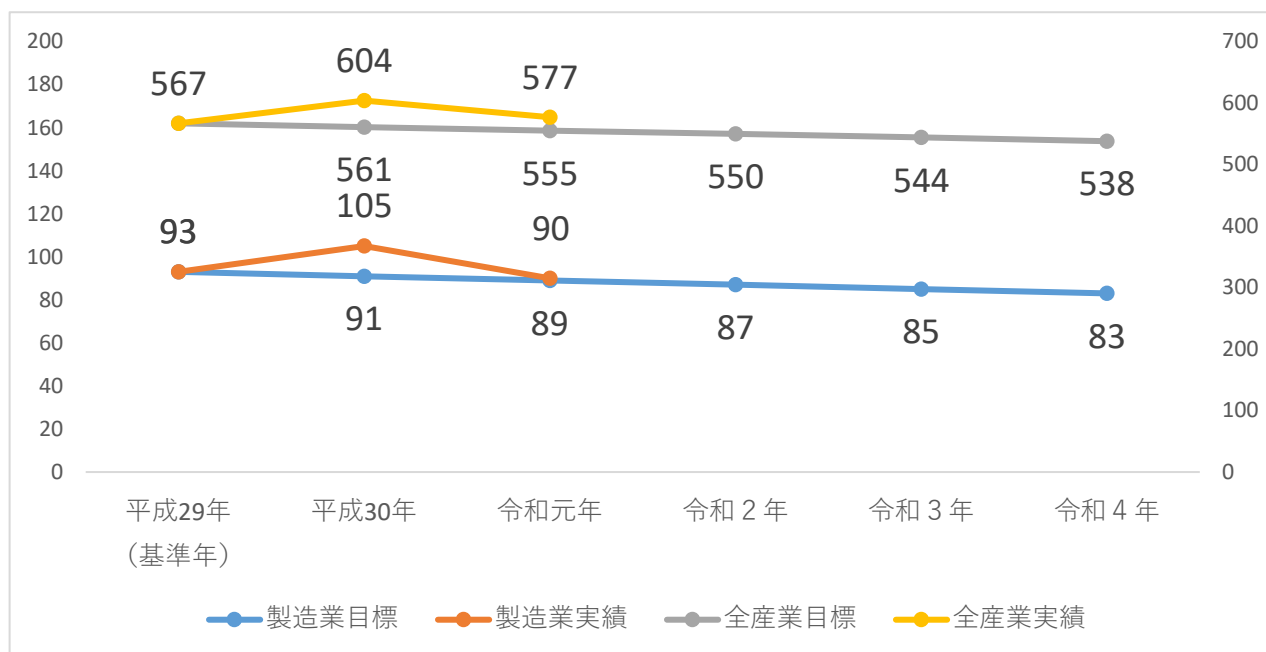


第13次労働災害防止推進計画の進捗状況 (製造業・令和2年5月)



当署管内の製造業における第13次労働災害防止推進計画（以下「13次防」）については、休業4日以上の労働災害を平成29年の93件から令和4年に83件となるよう、10%減少させ、死亡災害については、13次防期間中の各年は0件となるよう、事業場において各種の取組をお願いしています。

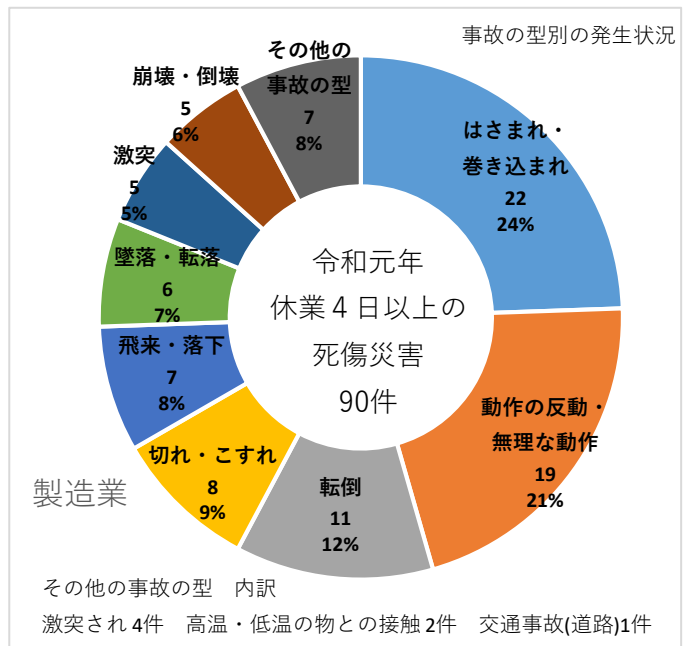
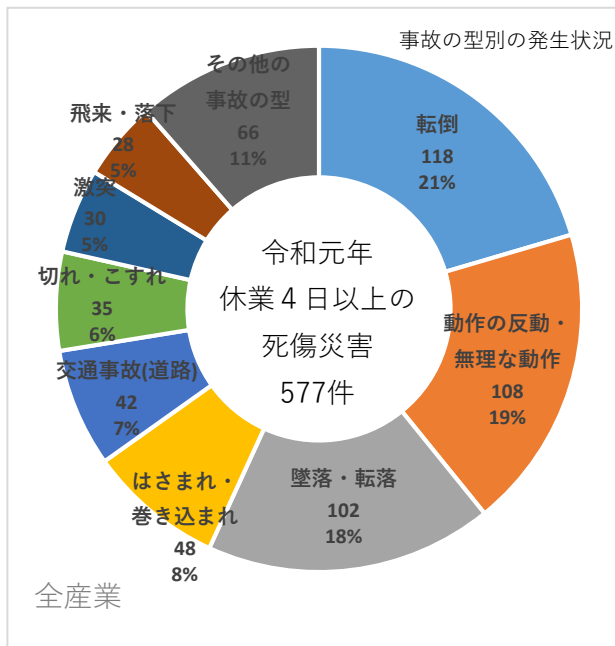
13次防の初年度となる平成30年の労働災害は、105件となり、対前年比12件（12.9%）の増加となりました。2年目となる令和元年の労働災害は、90件で対前年比15件（14.3%）の減少となりました。

令和元年は、前年比で労働災害が減少したものの、当該年の目標値である89件を達成することができませんでした。

一方で、死亡災害につきましては、13次防期間中0件で推移をしています。

業種別	第12次防期間中の死傷災害	平成29年死傷者数(基準年)	第13次労働災害防止推進計画							
			減少目標	平成30年		令和元年		令和2年	令和3年	令和4年
				目標値	確定値	目標値	確定値	目標値	目標値	目標値
全産業 (対前年増減割合)	2,831	567	5%減少	561	604	555	577	550	544	538
				-1.0%	6.5%	-1.0%	-4.5%	-1.0%	-1.0%	-1.0%
製造業	死亡災害	4	0	15%減少	0	0	0	0	0	0
	死傷災害	469	93	10%減少	91	105	89	90	87	85
				-2.0%	12.9%	-2.0%	-14.3%	-2.0%	-2.0%	-2.0%

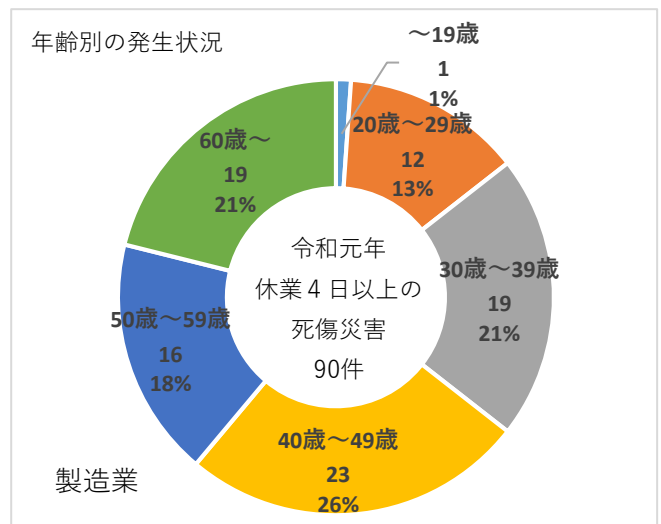
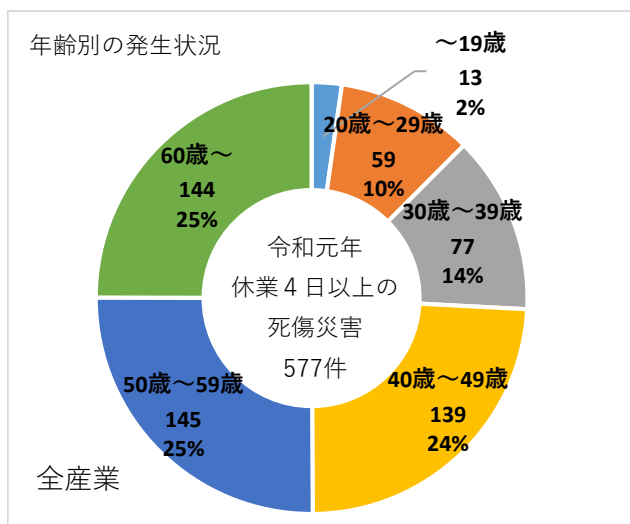
藤沢労働基準監督署



令和元年における休業4日以上事故の型別災害発生状況は、全産業では、転倒災害21%、動作の反動・無理な動作19%、墜落・転落18%、はさまれ・巻き込まれ8%の順で多い一方で、製造業においては、はさまれ・巻き込まれ24%、動作の反動・無理な動作21%、転倒12%、切れ・こすれ9%の順となっています。

製造業では、依然として機械などにはさまれる、巻き込まれるといった災害が最も多いことから、機械の危険部分への覆いの設置等の対策や機能安全を活用した機械設備の安全対策の推進を図ってください。

動作の反動・無理な動作は、その多くを腰痛災害が占めることから、「職場における腰痛予防対策指針」を、転倒災害については、「STOP!転倒災害プロジェクト」を参考に積極的な取組をお願いいたします。



令和元年における年齢別の休業4日以上労働災害発生状況では、高年齢労働者が職場で活躍される状況も増えつつありますが、製造業では全産業に発生状況と比べて、高年齢労働者の被災割合が低くなっています。引き続き、「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を参考に高年齢労働者に配慮した職場環境、作業の改善を進めてください。